

レク森 定例観察会

1月観察会の活動報告

日時：1月24日（日） 10：00～12：00

場所：レクの森 森林展示館周辺

テーマ：「冬のレク森たんけん
—スノーシューであるこう!—」

講師：水本絵夢（教育林コーディネーター）



●今回はスノーシューをはき、冬の教育林を動物の足跡や樹木の冬芽などを観察しながらあるきました。観察会の途中からは青空もみえはじめ、きもちよく散策できました。



←エゾリスの足あと。木の根元に穴をほったべものをさがしたあとがありました。
→エゾシカの足あともたくさんついていました。



冬の植物たち



↑カンボクの赤い実。
↓トチノキの冬芽。ネバネバした液で、芽がこもらないようにしています。

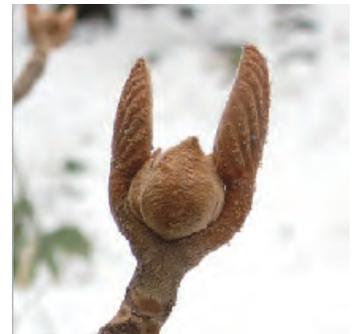


↑ミスバショウの冬芽は雪におおわれることで、寒さをしのぎます。かまくらのようです。

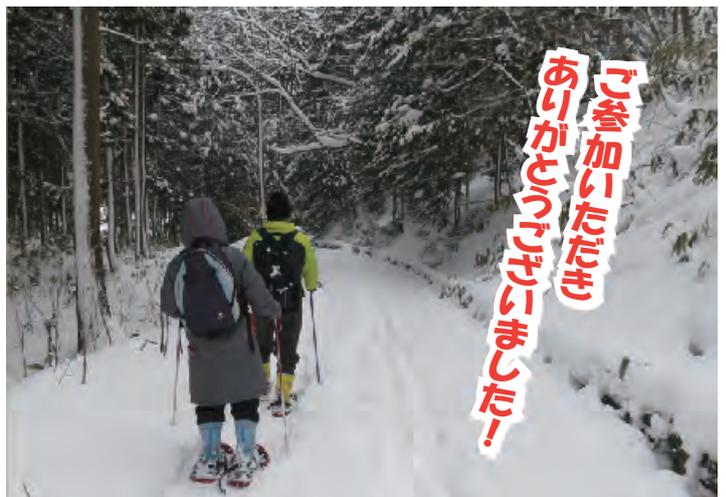


↑キタコブシの冬芽は毛でおおわれています。大きい方が花芽、小さい方が葉芽です。

↓ハンノキの実。小さいまつぼっくりのようなかたちで、すきまに種がはいっています。



↑オオカメノキの冬芽。真ん中が花芽で、両側が葉芽です。まるで動物のようです。



ご参加いただきありがとうございます！